

ファーム伊達家からのおたより

ようこそ畠へ

2009年6月8日(月)VOL.1

【寛記】

ファーム伊達家・旬の野菜セットのお申込みをいただき、ありがとうございます。6月下旬から11月上旬まで、伊達家の畠で採れた、おいしくて、安全で、新鮮な、旬の野菜を皆さんと分かち合っていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

6月に入り、1日には豊滝でもカッコウが鳴いていました。これまでビニールハウスの中で育ててきた、トマト、ミニトマト、キュウリ、かぼちゃ、ズッキーニなどの苗をこの1週間から10日間でどんどん畠に植えていきます。豆類の種も畠に播いていきます。最初にお届けする葉物野菜はすでに畠に植えられて、少しづつ大きくなっています。

畠の水路には、カエル、オタマジャクシ、サンショウウオ、ザリガニの姿があります。年々、生き物が豊かになって来ているように感じます。

次男（8歳）はカエルとりの名人です。畠について、あっという間に何匹もつかまえてきます。次男に「どうやったら、そんなにたくさん見つけられるの？」と聞いてみると、「（カエルのいそうなところを）ジーっと見ていると、動くのが見えるから、そこをつかまえるのさ。」との答え。じっくり観察しながら待つということなのだと思います。

農業は自然から学び、自然の恵みをいただく仕事です。そのためには、まず、しっかりと観察することから始めて、自然の仕組みを学び、それを野菜づくりに活かしていくことが必要です。家族で助け合いながら、自然と向き合い、自然の恵みをたくさんいただけるよう、ひとつひとつの農作業に取り組んでいきたいと思います。

皆さんもお時間があれば、畑で土と野菜と触れ合ってみませんか。きっと、畑で感じたことが日々の生活に潤いをもたらすことになるはずです。気軽にご家族で畑に遊びにきてください。

【愛子】

ファーム伊達家のお野菜をお申し込みいただき、ありがとうございます。継続のご家庭も、今年、新規のご家庭も、ご縁があることを本当にうれしく思います。

豊滝で野菜を作り始めて5シーズン目が始まりました。皆さんにいろいろな形で支えていただき、なんとかここまで続けてくることができました。

今年も春の雪割りから始まり、ビニールハウスのビニール張り、家の出窓やビニールハウスで種をまき、苗を育て、順々に畑へお引越ししている状況です。

今なら、まだ、野菜の赤ちゃんたちを見ることができますので、畑へいらしてください。

「種をまいてみませんか」

6月1日、豊滝でもカッコウが鳴きました。昔から、カッコウが鳴いたら、何の種を播いてもいいと言われています。皆さんも庭やプランターなどに好きな野菜を好きなやり方で、種をまいてみませんか。実は、我が家も一番最初は5階建てのアパートのベランダで、たった一つのプランターから始めたのです。それが少しづつ広がって、現在のような形になりました。心も技術も進化して、より良いものを皆さんにお届けしていきたいと思っています。今年もよろしくお願いします。